行事報告

カップリング・インターンシップ（CIS）活動報告(ドイツ／ベルギー)

グローバルダイバーシティ&インクルージョン推進室
准教授 勝又 美穂子

9 月 7 日～9 月 18 日（移動含む）で、ドイツ・デュッセルドルフから車で 30 分､メンヒェングラートバッハに位置する OTC DAIHEN EUROPE にて 2 度目となるカップリング・インターンシップ（CIS）を行いました。参加学生は、大阪大学外国語学部 2 名、工学研究科 1 名、基礎工学研究科 1 名、ベルギーの連携大学、KU Leuven の人文学部 2 名、工学部 2 名の計 8 名でした。

9 月 8 日に全員がデュッセルドルフ入りし､9 月 9 日からCIS事前研修の活動を開始しました。事前研修では両大学学生より両国の紹介、日本のものづくり企業及び受け入れ企業の紹介、コミュニケーションの基礎、CIS 課題へのチーム協議などを行いました。最初はお互い少し緊張が見られる学生達でしたが、時間を共に過ごす中で、一日が終わる頃には打ち解けた様子が見られるようになりました。9 月 10 日からの 4 日間は OTC DAIHEN EUROPE にて、企業紹介、各部署の取り組みなどを学ぶと共に、役割や役職の異なる多くの皆様とのインタビューを通して学習しました。学生達は事前に OTCE より“Diverse perspective for working and human resources development for next generation in OTCE”という課題を頂戴し、それに関連する多数の質問を行い、様々な方との議論を重ねました。また、実習研修では溶接ロボットの操作やマニュアル溶接についても熱心にご指導いただき、学生からはもっと別の溶接にも挑戦してみたいと、リクエストが出るほど皆興味を持って取り組みました。9 月 13 日の午後には企業研修を終え、デュッセルドルフ中央駅からブリュッセル南駅にユーロスターで移動し（2 時間半程度)、KU Leuven が位置する Leuven の街へ宿を移しました。KU Leuven は来年創立 600 周年を迎える大学でヨーロッパでも歴史ある大学です。

9 月 16 日（月）には、Leuven から北東へ電車で 50 分程に位置し、工学系（溶接系等）が研究室を構える KU Leuven De Nayer キャンパスにて最終報告会を実施しました。OTC DAIHEN EUROPE からは現アドバイザー(前 CEO)Mr. Kleinendonk, コスト管理･会計･営業担当吉野様,技術担当山田様が､KU Leuven からは工学部の Prof. Arras, Prof. Rymenant, 国際連携担当の Ms. Hilde, 日本語学科の Dr. Hartmann が、本学接合研からは西川教授が参加しました。学生達は 2 チームに分かれ､テーマに対する考察や提案を行いました。ダイバーシティーによりもたらされる効果と困難の検討から、次の世代の雇用に関することまで、4 日間、企業でインタビューや議論した内容に基づき各チームが意見や提案をまとめました。短い滞在ではありましたが、様々な立場の方との深い意見交換により、広い視野から考えることが出来ました。

CIS に参加して、これまで考えていなかった海外勤務に興味を持つようになった、自分からコミュニケーションを取りたいと思えるようになった、等、企業体験、異文化交流を通して参加学生毎に様々な刺激があったようです。改めて、受け入れていただきました OTC DAIHEN EUROPE の皆様、そして連携頂いた KU Leuven の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

最終報告会を終えて